

【ネットワークポリマー功労賞】^{ふじもと たかぞう}藤本 尊三



1. 略歴

1980 年 神戸大学 工学部 工業化学科 卒業
1980 年 住友ベークライト株式会社 入社
同年 7 月 静岡応用研究所
1992 年 基礎研究所 液状エポキシ樹脂製品プロジェクトチーム
2002 年 工業樹脂研究所 研究部長
2004 年 静岡工場 品質保証部長
2007 年 津工場 品質保証部長
2010 年 合成樹脂工業協会へ出向
2023 年 2017 年定年退職後、嘱託社員契約終了
2023 年 (一財) 静岡県労働福祉事業協会 静岡労政会館
現在に至る

2. 業績

入社以来、2004 年まで一貫して液状エポキシ樹脂製品の研究開発業務に携わる。

2010 年に合成樹脂工業協会へ出向後、ネットワークポリマー関係の事務局従事。

- (1) 1988 年 自動車用ワイパーモーターに使用される回転バランスをとるパテ材に使用されていた従来の作業性等が悪い高比重の二液型エポキシ材に代わり、常温安定性に優れた一液型エポキシ材を開発し、自動車部品会社、計測器会社と共同で全自動生産システムを開発構築した。
- (2) 1990 年 電話交換機向けプリント基板搭載メカニカルリレー用シール材として、コロナ放電で絶縁不良が生じない、有機シリコン、芳香族溶剤を含有しない無溶剤一液型エポキシ材料を開発。
- (3) 1998 年 従来の機械式（ディストリビューター方式）の点火システムに代わり、気筒毎にイグニッションコイルを搭載するダイレクトイグニッションに使用する高耐熱の二液型酸無水物硬化エポキシ樹脂液状封止材料の開発し実用化に携わった。
- (4) 2011 年 科学技術振興機構が進める国内の学協会誌を、国内外に向けて発信する電子ジャーナル化電子アーカイブ事業に申請し認定を受けた。NWP 誌及びネットワークポリマー講演討論会 要旨集を創刊から 2008 年発刊まで無料で、電子ジャーナル化を進めた。

同氏は 2010 年よりネットワークポリマー誌の事務局として、学術誌の編集ならびに講演討論会の開催事務局として貢献された功績は大なるものがあり、ネットワークポリマー功労賞を受賞される十分な資格があるものと認められる。